

評価細目の第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	③・b・c
<p>良い点／工夫されている点：「子ども一人一人を大切にし、保護者から信頼され、地域に愛される保育園」を基本理念とし、「心身ともに健康で、明るく思いやりのある子」を保育方針(目標)に定め、施設入り口(玄関)に掲げると共に、毎月発行する「園だより」には必ず保育方針を載せ、更にホームページにも掲載するなど、明文化と周知が図られている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	③・b・c
<p>良い点／工夫されている点：市では、国の「次世代育成支援対策推進法」(平成15年)や「子ども子育て支援新制度」(平成27年)等の推進にリンクし、現在「第三次子育て支援計画」(期間；令和2年度～同6年度)の中で保育の現状把握と保育目標の設定など、事業経営をとりまく環境と経営状況を把握・分析している。また、保育施設加盟団体が発行する機関誌(保育士会だより、ぜんほきょう、ぎふ保育等)や市並びに団体が主催する各種研修会での情報等を基に今後の取り組み動向等の把握にも努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
③	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	③・b・c
<p>良い点／工夫されている点：「第三次子育て支援計画」の推進目標に、「保育の充実」を掲げ、基本施策として①多様な保育ニーズへの対応、②保育者の確保、③保幼小連携の推進、④公立園と民間園との連携・相互協力の推進等のほか3歳未満児の保育利用率の向上など経営課題を明確にし、事業計画等に反映させている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

Ⅰ-3 事業計画の策定

		第三者評価結果

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点：「第三次子育て支援計画」で令和2年度以降の取り組み施策を明確にしている。3歳未満児保育の利用率は5年間で33.8%から40.7%に拡充するなど数値で達成目標を明示している。		
改善できる点／改善方法：		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点：毎年度末に「大垣市幼児教育・保育の方針と重点達成状況」(園経営・研修・指導の三領域)を全職員が評価し、園長に提出すると、園長は全体の取りまとめ結果を市の担当課に報告する。各施設からの報告は担当課で取りまとめられ、その結果を踏まえた次年度の基本方針と重点事項(「幼児教育・保育の方針と重点」)が示され、園ではそれを基に新年度の経営計画を個々に策定する方式が確立されている。		
改善できる点／改善方法：		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点：毎年、職員・外部有識者の評議員(校区の小中学校長、地域の自治会長、元幼稚園長、地域担当主任児童委員、保護者会長の5名に委嘱)・保護者(アンケート)の三者による保育評価(子どもの成長、安心・安全、家庭や地域との連携、職員の勤務など8項目)を実施し、結果から得られた課題等の解決策を盛り込んだ事業計画を策定するなど、職員に加え外部関係者参加型での評価・見直しを組織的に行う方式がルール化されている。		
改善できる点／改善方法：		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点：「すもとほいくえんへ ようこそ」というパンフレットを作成し、年度当初に園長が保護者会総会で説明するほか、ホームページにも掲載周知している。なお、行事等の実施計画については、園長と保護者会役員で事前に相談、確認して決定するなど、保護者との協力関係の確保に努めている。その他、毎月発行する「園だより」や「すもとっこだより」で必要事項の伝達等を通じて理解を促している。		
改善できる点／改善方法：		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点：年2回(8月・12月)正規職員は自己評価(4段階点数評価)を行うとともに、年3回保育に係る意見や助言等を評議員から得る機会を設けている。また、保育に係る週案や		

月案さらに年度末には年案について、職員会議等で検討している。その他、三者(職員・評議員・保護者)保育評価で現状を総括するなど、保育の質の向上に向けた取り組みが組織的に行われ、機能している。		
改善できる点／改善方法：		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	㉓・b・c
良い点／工夫されている点：三者保育評価で得た課題(①保育者間の連携による温かい人間関係の確保、②(職員間の)報連相の徹底、③子どもの内面を探る施設内研修の実施、④保護者と協力し、コロナ感染予防対策の徹底、⑤連絡事項の確実な伝達の実施等)を年間保育計画の冒頭に盛り込み、年度の最優先課題として取り組みながら職員会議等で改善状況の進行管理を行っている。		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	㉓・b・c
良い点／工夫されている点：「保育園運営規定」で園長の職務内容を明記するほか、職務分掌(「園運営機構」)でも自らの責任(「園務総括」)を明確にしている。その他危機管理対応(災害、不審者侵入、事故・事件、食中毒・感染症、個人情報、児童虐待、災害時業務継続計画[BCP]等)についても文書で明示し、年度当初の職員会議等で全職員に説明し理解を図っている。		
改善できる点／改善方法：		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	㉓・b・c
良い点／工夫されている点：主に市(所管課)を中心に法令等の動向や改正情報が文書等で提供されるので、文書回覧や職員会議等で趣旨説明等を行っている。また、施設内研修会でコンプライアンス研修を毎年実施している。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	㉓・b・c
良い点／工夫されている点：三者保育評価で得た課題等を次年度の重点取り組み事項に掲げ、職場全体で改善に取り組んでいる。「園内公開保育」を全クラスで年1回実施し、職員間で話し合う「参加型」の研修に取り組んでいる。その他、園内巡回時にクラスの様子を把握し、助言(ヒント提示等)を行うなど、保育現場中心の援助に配慮している。		

改善できる点／改善方法：		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 日頃から職員と協議しながら、毎月発行の「園だより」を5ページから1ページ(1枚もの)に縮減したり、連絡事項等は文書報告でなく、口頭又は手書きメモで迅速に伝達し合うなど、業務の効率化に努めている。行事等の使用器材をあらかじめクラス間で共同使用できるよう準備するなど、職員の業務負担の軽減に取り組んでいる。また、一時的に職員不足が発生する時には園長自ら保育に入るなど働きやすい職場環境の醸成に努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 毎年度、園長と市(所轄課)は必要な人員の確保など職員体制について協議し、職員配置基準に基づき、かつ経験年数のバランス等にも配慮した職員配置に取り組んでおり、経年的にも安定的に必要な人材が確保されている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 市(所轄課)の作成する「人事評価マニュアル」で一元的に実施している。毎年4月に職員が各々目標(能力・態度)設定(通称「目標管理シート」方式)を行い、その後前期評価(9月)と全期間評価(2月)の年2回能力・態度・実績について複数の者(第一次評価者・第二次評価者)が評価し、評価結果はいずれも本人に開示されると共に給与等处遇面にも反映する仕組で取り組んでいる。また、この資料は人事異動の資料等としても活用されている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 職員の有給休暇時等には補完勤務等の協力体制が園全体で確保されており、勤務表の作成にも反映させている。また、勤務中に体調が悪くなった時などは迷わず休暇を取るよう配慮している。その他、園長との個別面談の折には個々の悩み等を聞き、改善策等の助言に努めるなど、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	㊤・b・c

<p>良い点／工夫されている点：「人事評価マニュアル」に定める目標設定を基に園長との定期面談（作成時・前期評価時・全期間評価時）を通じて、業務目標のほか、進捗状況や達成度を相互に確認し、職員一人一人が目標をもって業務に従事する体制が確保されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
18	<p>Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。</p>	③・b・c
<p>良い点／工夫されている点：市が定める「保育者等研修計画」（平成21年制定）により、一元的に運用している。求める保育者像では、①高い使命感、②専門的知識、技能の保持、③組織の一員、④豊かな人間性、⑤学校、家庭、地域との連携等を掲げ、重点目標として①研修や実践研究による資質の向上、②職員間の意識の共有並びに職員の自主的問題解決力の醸成等を掲げ、研修部会と研究部会の二本柱で取り組んでいる。研修等の企画、運営は園長や施設代表者等で構成する「研究推進委員会」が担い、研修12項目・研究5項目の計17項目にわたる研修、研究に取り組んでいる。その他施設内研修（毎月1回）や保育施設加盟団体主催の研修会等にも随時参加している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
19	<p>Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。</p>	③・b・c
<p>良い点／工夫されている点：研修参加は事前に明示され各人の研修参加機会（直近実績：常勤職員→年間3回から5回、非常勤職員→年1回以上）が確保されている。園長は職員の「研修受講記録」を整備し、職員の計画的な研修に配慮している。研修参加者は研修後に「業務復命書」による全員回覧や職員会議等で結果を伝達している。その他、新規採用職員には、年4回外部講師（市派遣の施設長経験退職者）が派遣され、保育の基本等に関するアドバイスを行うなど職場適応（定着）の促進等に取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。</p>		
20	<p>Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。</p>	③・b・c
<p>良い点／工夫されている点：市共通の「実習生受け入れマニュアル」により運用している。実習の総括（受け入れ調整、オリエンテーション等）は園長又は主任保育士が行い個々の指導、対応等は主任保育士とクラス担任が連携して対応している。毎年近隣や県内の短期大学を中心に5名程度受け入れ、育成に努めている。その他職場体験の一環として中学生や高校生を適宜受け入れる事業にも積極的に取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
<p>Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。</p>		
21	<p>Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</p>	③・b・c
<p>良い点／工夫されている点：ホームページで基本方針や願う子どもの姿のほか、保育園概要や子ども</p>		

<p>たちの1日の生活の流れ、年間の行事計画、園だより等を掲げるなど各種情報を公開している。また、財務等については市の所要規定等(含む、議会)によっている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
22	<p>Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。</p>	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 県等による行政指導監査等が行われており、こうした機会を通して透明性の高い適正な運営業務に資している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
<p>Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。</p>		
23	<p>Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。</p>	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 理念に「地域に愛される保育園」を掲げ、運営規程では「家庭や地域との様々な社会資源との連携を図る」ことを明示している。園長は地域の社会福祉推進協議会の委員として交流の窓口となり、園児の地区センター祭り参加や老人福祉施設との相互交流等の場を広げている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
24	<p>Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。</p>	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点： ボランティアや実習生(中・高生)の受け入れは、マニュアルを作成し、目的・意義等の基本姿勢を明らかにしている。また、小・中校生の園体験の場を提供し、学校との協力体制を整えている。ボランティアの受け入れは、絵本の読み聞かせやサッカー教室等が行われているが、更に園の特性や地域の実情に即した、新たなボランティアの受け入れを期待する。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。</p>		
25	<p>Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。</p>	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 保育を提供するにあたり、関係する行政機関、各種団体、学校、病院やボランティア関係などをリスト化し、職員への周知及び必要に応じ保護者に情報提供している。保幼小連携協議会や関係機関とは、定期的に関催され会議等を通して連携体制を整えている。障害のある子どもの保育や家庭での虐待等が疑われる子どもへの対応は、関係機関とのネットワーク体制を確立し行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>		
26	<p>Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。</p>	①・b・c

<p>良い点／工夫されている点：定期的に開催される地域の社会福祉推進協議会や園評議員5名による「園関係者評価」を通し、地域の福祉ニーズの把握に努めている。また、園の行事後アンケートや「子育て広場ピョピョ」での保護者アンケート、送迎時での保護者との対話等を通し、利用者ニーズの把握に取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
27	<p>Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。</p>	a・㊸・c
<p>良い点／工夫されている点：園は地域主催の地区センター祭り等の参加を通し、地域の一員として役割を果たしている。災害時には、公共の施設として地域との相互協力体制を整えている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：園が有する人材・機能を活用し、地域の福祉ニーズ等に応じた園独自の活動が求められる。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
<p>Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。</p>		
28	<p>Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。</p>	㊸・b・c
<p>良い点／工夫されている点：理念で「子ども一人一人を大切に」を掲げ、運営規程で「園児の最善の利益を考慮すること」を明示している。市保育者等研修計画では、求める保育者等の理想像を示し、「子育て日本一」を推進する姿を求めている。特に子どもの人権については、保育実践と人権教育に対する研修を受講できる機会を設けている。また、子どもの虐待に関する対応は、手順書のもと早期発見等の対応に留意している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
29	<p>Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。</p>	㊸・b・c
<p>良い点／工夫されている点：日常の保育や排泄・着替え・シャワー時に対応するプライバシー保護について、必要に応じ月案や週案等を通して、対応姿勢や配慮すべき事項を整理し職員の共通理解を図っている。また、トイレ等の施設・設備について、プライバシー保護に対する点検や整備を行っている。なお、保育の場面等に対するプライバシー保護に関し、子どもや保護者への配慮すべき事項や保育士としての留意点等を集約した、マニュアル等の作成を期待する。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。</p>		
30	<p>Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。</p>	a・㊸・c
<p>良い点／工夫されている点：市のホームページの園概要は、規模、園目標、園生活・行事及び園だよりが、写真・イラスト等を用いて作成し、誰でも閲覧できる状況にある。また、入園・進級のしおりは、園利</p>		

用の見学者に活用している。		
改善できる点／改善方法： 実習生、施設体験・見学者等に配布する、簡易な保育園案内等を作成し、積極的な園情報の発信が求められる。		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	①・b・c
良い点／工夫されている点： 保育の開始にあたっては、目的・運営方針・保育内容等の重要事項を記した「入園・進級のしおり」及び「入園説明会及び健康診断」により説明し、保護者の同意の確認をしている。進級にあたっては、保育内容等を含め説明を行っている。また、外国籍の子に対しては、言葉の問題等もあり必要に応じ関係機関との協力体制を整えている。保護者の就労状況による保育時間の変更等は、事前説明のもと意向をくみ取り行っている。		
改善できる点／改善方法：		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	①・b・c
良い点／工夫されている点： 転園等にあたっては、子どもや保護者の意向を踏まえ、転園先や必要に応じ関係機関等との連携を図りながら、保育の継続が損なわれないよう取組んでいる。また、子どもに必要な情報提供を要する場合は、保護者の同意のもと行っている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	①・b・c
良い点／工夫されている点： 職員の自己評価に基づく、園評議員5名からなる園関係者評価を実施し、成果・課題・今後の改善についてホームページで公表している。保護者アンケートや行事後のアンケート結果は、園だより等で保護者に伝えている。また、保護者との面談や懇談会、送迎時での対話等を通して得た要望等は、決められた手順のもと保育の改善等に繋げている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	①・b・c
良い点／工夫されている点： 運営規程において、苦情に迅速かつ適切に対応するため苦情解決責任者・受付担当者・第三者委員からなる仕組みを確立し、解決に向けた必要な措置等を定め実施している。仕組みは、入園時の保護者説明及び園内掲示により周知している。		
改善できる点／改善方法：		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	①・b・c
良い点／工夫されている点： 相談や意見は、日常的に接する職員への相談のほか、「ご意見・ご要望の申し出窓口」として、責任者、受付担当者を置き、地域から5名の第三者委員を委嘱している。また、専門的な相談等にあつては、地域の関係機関と連携し対応している。窓口となる第三者委員は、園入口等に掲示し、また、保護者が相談等を気軽に述べ易い・言い易い環境づくりに努めている。		

改善できる点／改善方法：		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 保育の場や各種アンケート等による保護者からの意見・要望や提案は、苦情解決の仕組みに準じた園内体制、受けた後の手順により対応している。終礼ノートは、その日に受けた相談等を必ず記録し、次につなげる取組を確立している。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 市は保育園等に対する「危機管理マニュアル」を作成し、事件事故・不審者の侵入・火災事故や自然災害(地震・台風)・食中毒・感染症・インフルエンザ等を対象にした、緊急事態発生時の対処方法を定めている。園はこれのもとにリスクマネジメント体制を確立し、職員への周知に取組んでいる。日常保育等の点検業務は「事前対策チェックリスト」に沿い実施し、危機事案の予防に備えている。日常保育での事故・ヒヤリハットの情報の収集は、発生原因の分析や再発防止策に繋げている。		
改善できる点／改善方法：		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 国の感染症対策ガイドライン、県の感染症等対応マニュアルを基本に、市の感染症発生時の対応マニュアルに沿って取組んでいる。また、保護者に対し予防及び感染を広げない対応について、文書や園だよりを通して周知を行っている。新型コロナウイルス対策は、毎月発行する「園だより」で注意喚起すると共に園建物内への立ち入り制限や、保護者による毎日の健康チェックカードの提出、玩具や園内各所の消毒など市等関係機関及び家庭と連携を密にし、子どもの安全確保に取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている	㉑・b・c
良い点／工夫されている点： 市の「危機管理マニュアル」の中で定める、自然災害など緊急事態発生時の対応に沿い、救急及び緊急連絡体制、発生時の手順等を整備し子どもの安全確保に取り組んでいる。また、「市立保育園及び幼稚園等における災害時等業務継続計画(BCP)」は、災害発生時に備えた業務の継続を図る推進体制等を示し、これにより園は、平常時にあっても災害に備え取組むべき事項、および、緊急時対応としてBCP発動に対し、計画が求める具体的な対処策を整備している。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 保育の提供は、基本となる全体の計画及びこれに関連する諸計画のもと、これを推進するための方策や保育の実施時の留意点、プライバシー保護や権利擁護等の配慮すべき事項、設備等に対する安全業務などの手順など、保育の基本となる部分を共通化した手引書、手順書、マニュアル等を文書化している。なお、これらの文書化したマニュアル等は、誰でも何時でも閲覧できる環境を整備し、職員の違い等により保育の内容の差異を極力なくし、より良い保育に繋げるよう期待する。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 文書化したマニュアル等による実施方法は、保育方針・内容の変更や市保育課、園評議員・保護者等の意見や提案にもとづき、定期的に見直す体制を整えている。なお、手順書やマニュアルを見直した場合、文書の末尾等に改定日を付すなど最新の内容か確認できる取組を期待する。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 指導計画は、責任者である園長のもと、職員の役割分担・手順等を確立し策定している。職員は、アセスメント票のもと子どもや保護者の状況・ニーズ等を把握し、指導計画に反映させ、必要に応じ関係機関等の協力を得ながら取り組んでいる。なお、アセスメントは、年3回を基本に指導計画に繋げている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 指導計画は月毎に評価・見直し、関係職員への周知及び次年度に繋げるよう手順を定めている。個別の指導計画は年3回保護者と面談し、その思いを共有し計画に反映するよう努めている。また、指導計画の変更等は、主任・園長が総合的に管理できる体制を整えている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	①・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 子ども一人ひとりの保育の実施状況は、市で統一された方法で記録し、記録が指導計画等に繋がる基本情報となるよう、情報の共有化を図っている。また、子どもの個別の記録は、園長、主任が定期的に確認する仕組みを取っている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		

45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	㉓・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 文書は、管理責任者を定め市の規定に基づき保存・管理・廃棄等を行っている。保育に係る基本的な文書は電子化し、市の管理やマニュアルにより対処している。情報管理は、情報セキュリティリーダーが中心に定期的にチェックする体制や職員の研修参加の機会を確立している。個人情報の保護については、市条例の解釈運用のもと対応し、保護者に対する個人情報の取り扱いについては、入園時に説明している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価対象Ⅳ 保育内容

Ⅳ-1 全体的な計画の作成

		第三者評価結果
46	Ⅳ-1-(1) 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	㉓・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 毎年度末に、全体的な計画は学年毎に、振り返り、評価・反省、次年度の編成につなげられるように見直しをしている。担当者が、子どもの心身の発達や家庭状況、地域の実態などを考慮し次年度の作成に生かしている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅳ-2 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

		第三者評価結果
47	Ⅳ-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	㉓・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 各保育室にエアコン、カーテン、空気清浄機、温度計・湿度計が設置され、快適な環境整備を目指している。園舎の周りは年間を通して職員が草取りをしている。また、保護者会活動として年2回親子で草取りを実施するなど、活動がお母さんたちのコミュニケーションにも繋がり、同時に園全体の環境整備等にもつながっている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
48	Ⅳ-2-(2) 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	㉓・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 子どもの思いを大切にできるよう、保育の振り返りシートを作成している。いつも当たり前だと思っている事柄を年3回見直し、一人ひとりの子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

49	IV-2-(3) 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	㊸・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 幼児期の早いうちから生活習慣が身につくように、園には朝9時までに登園するように保護者に依頼している。年2回3歳以上児には生活リズムカードを配布し、家庭においても親子で楽しく基本的な生活習慣が身につくように実施している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
50	IV-2-(4) 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	㊸・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 園目標を実現するために、身体を動かして遊ぶ時間や場の確保がされている。また、友達との人間関係を深めるために、毎日どのクラスも30分以上戸外と遊戯室を有効に活用し、からだを動かす遊びをしている。幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿を目安として保育者が子どもの目線で、進んで遊びたいように考慮し援助活動を実施している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
51	IV-2-(5) 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㊸・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 午睡チェックは5分おきに実施し、子どもの様子に常に留意し、安全を守っている。また、一人ひとりの育ちや家庭環境に合わせ、指導計画や個別記録、発達記録を作成し、保育士同士連携しながら生活リズムや食事、遊び、環境等に配慮している。朝夕の送迎時の会話や連絡帳からの情報を確認し、家庭との連携を大切にすることを心がけ、親子共安心できる関係作りに努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
52	IV-2-(6) 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㊸・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 午睡チェックを1歳児は5分おきに、2歳児は10分おきに実施し子どもの様子の変化や状態を常に留意している。子ども自身が「自分でやろう」「やりたい」と思えるような援助を心がけ、子どもと共に来たことを喜び合い自信につなげるなど、個に応じた指導計画や個別記録、発達記録を作成している。また、仲良しタイムや外部講師による運動遊び等で、異年齢児交流や大人との関わりがもてる経験を大切にしている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
53	IV-2-(7) 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㊸・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 各年齢毎の発達を踏まえた指導計画を立案し、集団の中で安定しながら子どもが遊びを選ぶことができるように環境構成や援助に努めている。自然に囲まれた環境から、食物や虫などを通して命の大切さを知ったり、季節を感じたりできるように保育を実施したり計画をしている。</p>		

改善できる点／改善方法：		
54	IV-2-(8) 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㉓・b・c
良い点／工夫されている点：市指定の統合保育園として、障害のある子に個別や小集団保育ができるプレイルームがあり、プレイルームリーダーは認定療育士資格を取ったり現在も学んだりと専門性を高め必要な知識や情報を得て支援に生かしている。		
改善できる点／改善方法：		
55	IV-2-(9) それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㉓・b・c
良い点／工夫されている点：延長保育に対応できる保育士の配置を行い、延長保育児名簿での出席管理と、クラス保育者との伝達ノートを活用して引き継ぎ、保護者との連携が十分取れるようにしている。伝達ノートには、引継ぎ内容を具体的に記入し、延長保育担当者に口頭でも伝える等職員同士が連携し、子どもが安心してゆったり過ごせるように努めている。		
改善できる点／改善方法：		
56	IV-2-(10) 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	㉓・b・c
良い点／工夫されている点：江東小学校校区連携協議会に参加し、合同研修や職員交流をしていた。しかし、現在はコロナ対策のため実施できていないが、小学校の校長・教頭と園長は地域の会合で交流したり、電話での情報交換をしたりとコロナ以前と変わりなく連携に対して意識している。特別な配慮を要する子においては、その交流の場に保護者も同席し、個別の支援計画、指導計画(スマイルブック)の引継ぎをしている。		
改善できる点／改善方法：		

IV-3 健康管理

		第三者評価結果
57	IV-3-(1) 子どもの健康管理を適切に行っている。	㉓・b・c
改善できる点／改善方法：入園時、園児調査票・保健調査表・3歳未満児は生活調査票を保護者に記入してもらい健康管理をしている。登園時には、健康チェックカード(夏場はプラス水あそびチェックカード)を保護者に記入してもらい健康状態を職員と共有し、健康管理を徹底して子どもを受け入れるようにされている。		
改善できる点／改善方法：		
58	IV-3-(2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	㉓・b・c
良い点／工夫されている点：健康診断は年2回、歯科検診は年1回、それぞれ検診結果を記録し保護者に伝え、事後措置が必要な子どもは措置終了報告書の提出を依頼し、生活習慣や歯の大切さを子ども自身が気をつけていけるように支援している。欠席児童には、手紙を配布し、保護者に診断確認措置を取るなど、保護者への意識向上が図られている。		

改善できる点／改善方法：		
59	IV-3-(3) アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	③・b・c
<p>良い点／工夫されている点： アレルギー対応ガイドラインに基づいたしおりの作成、入園時保護者、園長、主任、担当、調理員との面談、給食時の配食前のダブルチェック体制、アレルギー児の一覧等、緊急時誰でも対応できるような工夫をしている。薬を持参の園児には、毎回受け渡し簿で確認し、登園時に預かり、降園時に返却する等適切な対応をしている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

IV-4 食事

		第三者評価結果
60	IV-4-(1) 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	③・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 季節の食材に興味を持てるよう園児が野菜を育て、様々な食材に触れるように工夫されており、食に対する豊かな経験ができるような機会が設けられている。摂食の個人差に配慮し、量を加減しながら配膳し、徐々に食べられるものが増え、完食する満足感や達成感が得られるように工夫されているなど、子どもの発達に合わせた食事の援助を行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
61	IV-4-(2) 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	③・b・c
<p>良い点／工夫されている点： マニュアルに基づき、誤食等の事故がないよう努めている。また、苦手なものを少しでも食べられるような献立、調理と工夫をしている。国産食材を出来るだけ多く使用できるように心がけ、伝票に産地名を記載し、おいしく安心して食べることができる食事をこころがけている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

評価対象V 子育て支援

V-1 家庭との緊密な連携

		第三者評価結果
62	V-1-(1) 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	③・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 必ず保護者による送迎が実施されているので、登降園時保護者から子どもの様子を聞いたり、園からの様子を伝えたりと、保護者と情報交流し、家庭での日常的な様子を聞く機会を設けている。また、保護者との情報交換の中で得た事柄を記録し、保育に活用するなど家庭との連携を深めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

V-2 保護者等の支援

		第三者評価結果
63	V-2-(1) 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	㉓・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 園長は登降園時30分ずつ門に立ち、園目標に掲げられた、送迎時保護者との挨拶や会話を大切にすることを実践している。未就園児が保育体験できる「子育て広場ピヨピヨ」には子育て相談の看板を掲げ、随時相談に応じている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		
64	V-2-(2) 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	㉓・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 家庭に事情がある子については、家族構成を含めた事情を共有し、虐待が疑われる保護者には特に積極的に話しかけ、保護者の気持ちに寄り添い、信頼関係が築けるように努めている。市の要保護研修「子どもの人権」に参加した職員が園内で報告し、虐待について日頃から学べるようにしている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価対象VI 保育の質の向上

VI-1 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)

		第三者評価結果
65	VI-1-(1) 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	㉓・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 年1回全クラスが公開保育を実践し、保育士等が記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践を振り返る園内研修(自己評価)を実施している。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価対象VII 個別サービス評価基準(岐阜独自基準)

VII-1 安全管理面でのサービス

		第三者評価結果
66	VII-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	㉓・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 防犯カメラが3箇所設置され、常時職員室で映像が確認できるようにしている。防犯訓練を年4回実施することで、保育士・子ども・保護者で防犯を学ぶ機会がある。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		

VII-2 保護者とのコミュニケーション

		第三者評価結果
67	VII-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 年度当初年間行事計画で、保護者が参観する行事については知らせ、行事や懇談会に参加できなかった保護者に対しては、後日ビデオを見てもらう時間を作ったり、話したりする場を設けている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		
68	VII-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 園長が保護者会と相談をしながら行事を進め、保護者会が活動しやすいように部屋を用意し、収納棚の設置・事務用品の保管など、いつでも使用できるようにしている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		

VII-3 保育所・幼稚園・小学校との連携

		第三者評価結果
69	VII-3-(1) 保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。	㊤・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 校区の江東小学校とは、行事の連絡を取り合ったり、次年度入学する子の要録や個別指導計画の引継ぎを行ったりしている。幼小連携で、学校のカリキュラムや保育を相互的にとらえながら交流を図っている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>		